

平成27年12月22日

倉敷市長 伊 東 香 織 様

倉敷市立児島市民病院改革プラン評価委員会

委員長 鳥 越 良 光



倉敷市立児島市民病院改革プラン評価委員会意見書

倉敷市立児島市民病院改革プラン評価委員会（以下「委員会」という。）は、現在、建設を計画している新病院の名称についての意見を取りまとめましたので、ここに委員会の意見書として提出します。

1 意見書提出に至る経緯

委員会は、平成22年4月に策定された「倉敷市立児島市民病院改革プラン」の実施状況の点検及び評価等を行うために設置されたものですが、改革プラン実施期間中の平成24年度に病院経営と大きく関わる新病院の建設が計画されたことから、プラン最終年度である平成24年度の点検・評価を終えた平成25年度以降も引き続き病院経営の評価を行い、新病院の建設計画について意見を述べてまいりました。

新病院の名称については、平成27年1月22日に開催された委員会において意見が出されたことを受け、平成27年11月5日開催の委員会で議論を行い、委員会としての意見をまとめたものです。

2 意見

新病院は、地域の中核的な病院としての役割を引き続き担うとともに、緩和ケア病棟の開設など全市域を対象とした医療を提供すること、市内で唯一の市民病院であること、旧児島市と合併して40年以上が経過していることなどを鑑みて、新病院の開院を契機にその名称を新しくすることとして次の名称がふさわしいと考えます。

新病院名称： 倉敷市立市民病院

倉敷市立児島市民病院改革プラン評価委員会

委員長 鳥越良光

副委員長 三宅啓文

委員 楠本新太郎

委員 清水昌美

委員 高田幸雄

委員 長安つた子

委員 難波弘志